



SATO

company profile

2024- 2025



佐藤製薬株式会社
www.sato-seiyaku.co.jp
〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-27
Tel: (03) 5412-7310 (代表) Fax: (03) 5412-7330

佐藤製薬株式会社
会社案内

はじめに

人生100年時代を迎えようとしている今、高齢者から若者まで、すべての人が元気に活躍し続けられる社会をつくることが重要なテーマとなっています。

私たち佐藤製薬も100年を超える歩みの中で、市場のニーズを的確にとらえたOTC医薬品や独自性の高い医療用医薬品などを広く社会に送り出すことで、人々の健康を支え続けてまいりました。

そして、今、持続可能な社会を実現するために、私たちに期待される役割はますます大きくなることを認識し、従業員一同思いを新たにしています。

創業以来、変わらぬ企業姿勢と新たな挑戦によって、私たちの歩みは未来へと続いていきます。

目次

はじめに	01	ヘルスケア事業	11
ごあいさつ	03	医療用医薬品事業	19
企業理念	05	海外事業	25
持続可能な開発目標	07	生産・物流	31



会社概要

本 社

〒107-0051
東京都港区元赤坂1-5-27
Tel: (03) 5412-7310 (代表)
Fax: (03) 5412-7330

代表取締役社長 佐藤 誠一
資本金 20億円
設 立 1939年8月1日
従業員数 約1,000名

URL : www.sato-seiyaku.co.jp

国内事業所

- AHC2ビル
- AHC3 オフィス
- 品川研究開発センター
- 八王子工場
- かずさ工場
- 札幌営業所
- 仙台営業所
- 名古屋営業所
- 北陸営業所
- 大阪営業所
- 広島営業所
- 福岡営業所
- 沖縄営業所 / 流通センター
- 東京流通センター
- 大阪流通センター
- 仙台流通センター
- 札幌流通センター

■ 国内事業所 ■ 研究開発センター ■ 工場 ■ 流通センター

海外事業所

- Sato Pharmaceutical (USA) Inc.
- Sato Pharmaceutical (Hong Kong) Co., Ltd.
- Sato Pharmaceutical (Singapore) Pte., Ltd.
- Sato Pharmaceutical Co., Ltd. Shanghai Office
- Sato Pharmaceutical Co., Ltd. Europe Office
- Sato Pharmaceutical (Taiwan) Co., Ltd./台湾工場

国内子会社

- ・ キップ薬品株式会社
- ・ 株式会社ビーアンドエイチサトウ
- ・ メディックスサトウ株式会社

佐藤製薬は、持続的な成長に向けて

「ヘルスケア イノベーション」を進化させます

我が国は、急速に進む高齢化と少子化により人口減少に転じており、2040年には医療・介護の需給バランスが崩れ、社会保障制度の持続可能性がさらに深刻化するとされています。

政府は、少子化対策、社会保障改革に加え、DX推進やICT (Information and Communication Technology) の活用、医療従事者のタスクシフト/シェア、女性や高齢者などの潜在労働力を活用できる環境づくりとともに、健康寿命の延伸も重要なテーマとしています。2023年の経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)においても、セルフメディケーションの推進に向けたOTC医薬品の拡大が示されています。こうした社会のニーズに応えるため、当社の主力事業であるヘルスケア事業では、スイッチ OTC 医薬品などの付加価値の高い製品の開発と高品質な製品の供給に力を注いでいます。主力ブランドにおいては著名なブランドアンバサダーを起用し、多様なメディアを用いた情報提供を推進しています。

医療用医薬品事業においては、皮膚科領域を中心に独自性の高い製品を取り揃え、デジタルを活用したきめ細かな情報提供活動を展開しています。新薬の創出や開発においては、国内外の企業、大学、研究機関との提携を進めており、自社における有用性の高い新規化合物の合成研究の強化に向けて、研究施設の充実化を図っております。

海外事業では、アジア、北米、欧州の6拠点において、地域のニーズに合った製品の提供とマーケティングを展開しています。外用爪白癬治療剤「ルコナック」のシンガポールを拠点にしたアジアへの拡大、北米での抗真菌剤の開発など、医療用医薬品のグローバル展開もスタートしています。

CSR活動としましては、公益財団法人である「一般用医薬品セルフメディケーション振興財団」と「佐藤奨学会」の活動を通じて、セルフケア・セルフメディケーションの環境づくりや、社会に貢献する人材育成、生産拠点を中心とした環境への配慮など、SDGsに貢献するための取り組みを継続しています。

2015年に創業100周年を迎えた当社は、令和の時代も引き続き「ヘルスケア イノベーションの推進」という企業理念のもと、OTC 医薬品、医療用医薬品を中心とした健康関連事業を通じ、生活者の健康に寄与してまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
佐藤 誠一

持続的な成長の実現に向けて

主要事業における成長基盤の確立

01 ヘルスケア事業

高品質・高付加価値の OTC 医薬品の提供を通して、人々の健康を支えます。

02 医療用医薬品事業

皮膚科領域を中心に独自性の高い製品で患者様の QOL の向上を目指します。

03 海外事業

アジアを中心に、北米・欧州でサトウブランドの育成を図ります。

ビジネス拡大と業務効率化に向けたデジタル化のさらなる推進

佐藤製薬では製品・サービスなど、より高い価値を持続的に提供するために、DX (デジタルトランスフォーメーション) を積極的に推進しています。



明日の健康のために、人へ、そして社会へ

OTC 医薬品、医療用医薬品を中心とした健康関連事業を通じて、
人生を健やかでいたいという人々の生活向上をサポートし、持続可能な社会づくりに貢献する。
その使命を果たすべく、私たちはヘルスケア イノベーションを推進しています。

HEALTHCARE INNOVATION

ウェルビーイング*な、明日のために

人生 100 年時代において、「ヘルスケア」はこれまで以上に重要な意味を持ちます。
「ヘルスケア イノベーション」は私たち佐藤製薬の企業理念であるとともに、
人本来の「生きてゆく力」を支え、いつまでも健やかに、
美しく、充実した日々を過ごしたいと願う人々へのエールでもあります。
そして、ヘルスケアはこれからも進化し、次の時代の健康の概念を変えていくでしょう。
新たな価値の創造と変革への挑戦を通じて、人々にとって、もっとウェルビーイングな明日へ。
佐藤製薬は、製品イノベーション・生活イノベーションを通じて明日の健康を支えていきます。

※身体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること

HEALTHCARE INNOVATION

製品イノベーション

新規性の高い製品の開発

スイッチ OTC 医薬品やダイレクト OTC 医薬品の開発にも積極的にチャレンジします。

ニーズの変化に対応した製品開発

新たな剤型や包装など、ライフスタイルの変化による市場のニーズに対応します。

新たな領域の新薬開発

自社開発やライセンス導入により、
医療の現場で求められる
新薬の開発を進めています。

生活イノベーション

セルフメディケーションの普及

・健康に対する意識を高め、医薬品の上手な活用を促す情報提供、ヘルスリテラシーの向上に努めます。

・生活者の健康支援に直接携わる、薬剤師など専門家のサポートを行います。

疾患啓発等の情報発信

患者様に対する疾患啓発など、
情報発信による早期発見、
早期治療を目指します。

HISTORY 佐藤製薬の歴史

1915 佐藤製薬所を東京市本郷区千駄木町に創業。

1959 「ストナ」(かぜ薬)「リングル」(解熱鎮痛薬) 発売。
マスコットキャラクター「サトちゃん」誕生。

1961 八王子工場新設、生産開始。

1967 「ユンケル黄帝液」(OTC ミニドリンク No.1) 発売。

1978 「アセス」(OTC 歯周病薬 No.1) 発売。

1982 マスコットキャラクター「サトちゃん」誕生。

1990 「ヘルスケア イノベーション」の推進を企業理念として提唱。
台湾工場新設、生産開始。

1992 本社を品川区東大井より、港区元赤坂に移転。

1994 品川研究開発センター設立。

1995 佐藤誠一が代表取締役社長に就任。

2002 かずさ工場新設、生産開始。

2006 「一般用医薬品セルフメディケーション振興財団」設立。

2010 佐藤誠一がアジア太平洋セルフメディケーション協会
(APSMI) 初代会長に就任。

2012 外用局所麻酔剤「エムラクリーム」発売。

2014 東京流通センター稼働。

2015 創業 100 周年。

2016 爪白癬治療剤「ルコナック爪外用液 5%」発売。

2017 「ユンケル黄帝液」発売 50 周年。

2018 佐藤誠一が日本 OTC 医薬品協会の会長に就任。
経口抗真菌剤「ネイリンカプセル 100mg」発売。

2022 サステナビリティ活動を本格化。

2023 「ユンケル黄帝」配合生薬を強化し、リニューアル。

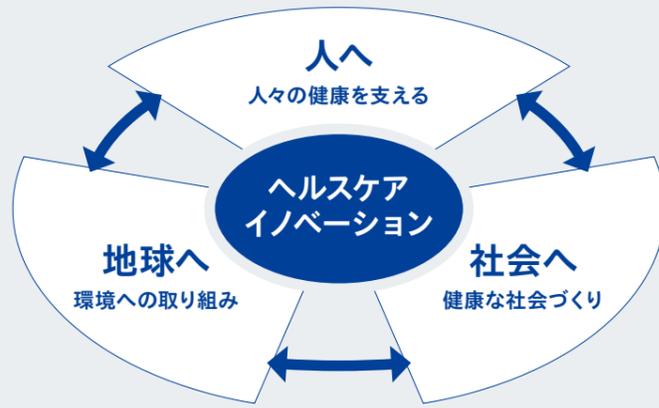
持続可能な世界のためにできること

佐藤製薬ではSDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向けて、事業活動を通じたさまざまな課題解決への取り組みを進めています。健やかな毎日のために挑戦し続ける「ヘルスケア イノベーション」とSDGsの理念は、目指す方向を同じくするものであり、極めて親和性の高いものと考えています。



3つのテーマ

佐藤製薬は「ヘルスケア イノベーションの推進」という企業理念のもと、生活の質を高めつつ社会が持続的に維持・発展するために、人々の健康を支え、地球環境の保全に努め、健全な社会づくりに貢献します。



10の目標

佐藤製薬では、持続可能な社会の実現を目指す上で、特に推進すべき重要課題を「10の目標」として具体的に掲げ、課題解決に取り組んでいます。

1 医薬品の研究開発	6 ダイバーシティ
2 健康アクセスの向上	7 人材育成の推進
3 医薬品の安定供給 (サプライチェーンマネジメント)	8 従業員の健康増進
4 カーボンニュートラルの推進	9 公正かつ誠実な事業活動
5 資源循環と廃棄物削減	10 社会貢献

例えば、佐藤製薬では、こんな取り組みを進めています



セルフメディケーションシンポジウム

① セルフメディケーションの推進のための環境整備

国民の健康とセルフメディケーション振興に寄与することを目的として設立された公益財団法人「一般用医薬品セルフメディケーション振興財団」。佐藤製薬では財団を通じた調査研究などへの各種助成事業を展開。各種研究会、講演会、シンポジウム、啓発活動を通じてセルフメディケーションの環境整備を推進しています。



かずさ工場 太陽光パネル

② 環境に配慮した生産・物流体制の構築

各事業所でLED照明を採用し屋上緑化を図るなど、全社的に環境負荷の低減に向けた活動を推進しています。八王子工場、かずさ工場、東京流通センターなどの生産・流通施設には太陽光発電パネルを順次増設。発電力はパネル増設前の1.5倍に達しています。また、ドリンク剤などの大量生産ラインにおける省資源設備の導入や、製剤棟の空調に高効率冷却機を使用するなど、CO₂排出量の削減を進めています。

③ 従業員に対する取り組み

従業員が自分らしく、健やかに働くために健康管理はもちろん、さまざまな取り組みを行っています。次世代を担う従業員と会社の相互の持続的な成長を目指し各種研修制度を充実させ、積極的な人材育成に力を注いでいます。女性管理職増加のための取り組みを遂行し、時短勤務制度や事業所内保育所設置も行い、女性が活躍できる環境づくりにも取り組んでいます。



brand ambassador for **YUNKER**

エンケル ブランドアンバサダー：鈴木一郎



Ichiro Suzuki

強いカラダを手に入れよう。

2002年にエンケルのテレビCMの顔としてご登場いただいて以来、エンケル＝イチローさんのイメージが浸透しています。イチローさん自身にも高校時代から毎日愛飲していただいており、常に高いパフォーマンスを追求し続けるイチローさんをサポートしてきました。2023年に多様化する現代社会の疲れに対応できるように処方強化し、「エンケル黄帝」として新登場しました。

ヘルスケア イノベーションを通じて、 高付加価値・高品質で確かな製品をお届け

身近な薬局・薬店、ドラッグストアから人々の健康を支える「ヘルスケア事業」。
皮膚科領域を中心に独自性の高い製品を提供する「医療用医薬品事業」。
国内のみならず、信頼のサトウブランドを世界に発信する「海外事業」。
これらの事業を柱に、「ヘルスケア イノベーション」を推進し、
安全で高品質な製品をお届けします。

01 ヘルスケア事業

- 主カブランド
- 製品開発
- 化粧品・新規事業
- マーケティング

02 医療用医薬品事業

- 主力製品
- マーケティング
- 研究開発

03 海外事業

- 海外拠点と提携先
- マーケティング

01

【ヘルスケア事業】

OTC 医薬品市場のリーディングブランドを展開

佐藤製薬の主力ブランドは、いずれも 40 年以上続くロングセラーの製品です。独自性の高い新製品の投入やマーケティング戦略により、リーディングブランドとして市場での地位を確立しています。また、医薬部外品、機能性表示食品、化粧品など、幅広いカテゴリーの製品を通じて、生活者の日々の健康を支えています。

主力
ブランド



【ミニドリンク剤】 ユンケルシリーズ

誕生して 60 年を超える、佐藤製薬の代表的なブランドです。ミニドリンク剤として 40 種類以上のラインアップがあり、市場ではトップシェアを維持。ブランドアンバサダーには元 MLB プレイヤーのイチローさんを起用しています。2023 年に多様化する現代社会の疲れに対応するために処方強化して「ユンケル黄帝」が新しくなりました。長年培った生薬研究で心身共に充実した毎日をサポートします。

ユンケル

滋養強壯。肉体的疲労・病中病後・発熱性消耗性疾患・食欲不振・栄養障害・妊娠授乳期などの場合の栄養補給。虚弱体質



【歯周病薬】 アセスシリーズ

「アセス」は日本初の天然ハーブ由来の歯周病薬であり、歯周病の症状緩和に優れた 3 種のハーブを配合し、臨床試験でもその効果が確認されています。また、2022 年に歯周病「予防」を追求した医薬部外品「薬用アセス」シリーズを発売。歯周病症状の「予防」と「改善」両面からアプローチすることで生活者のお口の健康に貢献します。

アセス

歯肉炎・歯槽膿漏の諸症状（出血・はれ・口臭など）の緩和

薬用アセス

歯周炎（歯槽膿漏）の予防、歯肉（齦）炎の予防、むし歯の発生および進行の予防、口臭の発生の防止、歯を白くする、口中を浄化する、口中を爽快にする



【かぜ薬】 ストナ 【点鼻薬】 ナザール

「ストナ」シリーズは、“症状別”に選べるラインアップ“素早く溶けるジェルカプセル”の採用など、差別化された製品として大変ご好評いただいています。

「ナザール」はつらい鼻炎症状に素早い対処ができ、鼻水・鼻づまりを解消する点鼻薬として、トップシェアを誇る製品です。

ストナ

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、のどの痛み、発熱、せき、たんなど）の緩和

ナザール

アレルギー性鼻炎、急性鼻炎又は副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：鼻づまり、鼻水（鼻汁過多）、くしゃみ、頭痛



【解熱鎮痛薬】 リングルアイビー

「リングルアイビー」は、生理痛・頭痛・発熱によく効く解熱鎮痛薬です。痛みを早く抑えたいというニーズに対応し、有効成分のイブプロフェンを液状に溶かしたカプセルを採用。生理痛・頭痛などの痛みや発熱に対するしっかりした効き目ですが、女性を中心とした多くのユーザーに支持されています。

リングルアイビー

月経痛（生理痛）・頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・外傷痛などの鎮痛。悪寒・発熱時の解熱

セルフメディケーションを支えるOTC医薬品

佐藤製薬は市場のニーズやトレンドを見据え、より付加価値の高い製品の開発に注力。

特に、医療用医薬品を薬局・薬店、ドラッグストアで購入できるように転用した

スイッチ OTC 医薬品の開発に積極的に取り組んでいます。

製品開発



スイッチ OTC 医薬品

スイッチ OTC 医薬品とは医師の処方によって使用される医療用医薬品の中でも、比較的副作用が少なく安全性の高いものを、OTC 医薬品として販売できるように転用された医薬品のことです。症状の改善だけでなく、病気の予防や生活の質の向上など、セルフメディケーションを実践する上で大きな役割を果たすことが期待されています。佐藤製薬では、市場での優位性が期待できるスイッチ OTC 医薬品の開発を積極的に進めており、これまでに上市した製品の多くが、市場でトップシェアを獲得しています。

ナザールα ARO.1% (季節性アレルギー専用)
つらい花粉症に。アンテドラッグステロイドのベクロメタゾンプロピオン酸エステルを配合

ナシビンメディ
鼻づまりに効くオキシメタゾリン塩酸塩を配合した持続性点鼻薬

ストナリニ Z ジェル
第二世代抗ヒスタミン成分のセチリジン塩酸塩を配合したジェルカプセルのアレルギー性鼻炎専用薬。1日1回で24時間効き目が持続

ルミフェン
つらい関節痛、腰痛、肩こり痛などの炎症性の痛みにも効くアルミノプロフェンを市販薬で初めて配合した鎮痛薬

エンペシド L
クロトリマゾール配合の腔カンジダ再発治療薬

アラセナ S / アラセナ S クリーム
ビダラビン配合の口唇ヘルペス再発治療薬

新製品

主力ブランドのラインアップ強化や生活者のニーズの変化を的確にとらえた新製品の開発を積極的に進めています。また、製品の処方だけでなく、剤形や包装など、生活者がより使いやすい製品を開発しています。幅広い製品を拡充することでセルフメディケーションを支えています。

エンケル黄帝
従来品と比べて新たにエレウテロコックとγ-オリザノールを新配合。滋養強壮、肉体疲労時やかせなどの発熱性消耗性疾患時の栄養補給にすぐれた効果をあらわします。(ミニドリンク剤)

エンケル黄帝 DCF
カフェインを含まないのでおやすみ前にも服用でき、動物性生薬と植物性生薬がバランスよく配合されています。(ミニドリンク剤)

ナザール G スプレー
つらい鼻づまり、鼻水に。血管収縮成分に加えて、炎症反応を抑える「グリチルリチン酸二カリウム」配合の点鼻薬です。(鼻炎用点鼻薬)



機能性表示食品

生活者の健康に対する意識が高まり、普段の生活の中で病気になるための取り組みが重視されています。特に科学的根拠に基づいた機能性表示食品が注目を集めており、佐藤製薬でも新たな機能性表示食品の開発に力を入れています。OTC 医薬品、機能性表示食品などの販売を通じて予防から治療まで、一人一人のセルフケア・セルフメディケーションへの取り組みをサポートしています。

サトウ DHA&EPA
認知機能の一部である「記憶力を維持する」「中性脂肪を低下させる」のW機能を持ち、つなぎ目のないシームレスカプセルを採用することで DHA・EPA を酸化から守ります。

サトウイチョウ葉
イチョウ葉エキスを高濃度に配合したソフトカプセルが中高年の認知機能の一部である記憶力を維持・サポート



製薬会社だからできる美への取り組み

佐藤製薬の長年にわたる生薬研究や皮膚用薬のノウハウを活用し、製薬会社だからこそできる化粧品ブランドをお届けしています。また、指定医薬部外品でも常に新たなチャレンジを続けています。

化粧品・
新規事業



【指定医薬部外品】 ユンケル ローヤルシリーズ

「ユンケルローヤルシリーズ」は、コンビニエンスストア・スーパーマーケットなどを中心に販売している、指定医薬部外品のミニドリンク剤です。医薬品のユンケル同様に、独自の生薬の配合により、生活者のさまざまな目的に合わせてラインアップを取り揃えています。ドリンク剤だけでなく、錠剤や顆粒タイプに加え、パウチゼリータイプなどの新しい剤形も投入し、市場のニーズにお応えしています。



【製薬会社の技術を集約した】

エクセルーラ

「エクセルーラ」は約100年にわたって佐藤製薬が培ってきた技術を土台に、皮膚科学の視点から年齢肌のメカニズムについて研究を重ねて生まれたエイジングケア化粧品ブランドです。高機能基礎化粧品として高く評価されており、今後も製薬会社ならではのテクノロジーを生かし、独自の高濃度・高浸透処方によって、女性の肌の悩みに応えていきます。



ユリアージュ サトウシリーズ

「ユリアージュ」は約75年もの歳月をかけて湧き出るユリアージュ温泉水を配合した南フランス発のスキンケアブランドです。2022年3月に「ユリアージュ シカデイリーシリーズ」を発売しました。「サトウシリーズ」は、“大人肌に、自信と輝きを。”をコンセプトとして、2009年に誕生しました。佐藤製薬の製剤技術である「生薬の抽出・ブレンド技術」や「医療用技術の応用から生まれたディープデリバリーシステム」、「軟膏の技術」を化粧品に取り入れたエイジングケアシリーズです。



【鼻孔拡張テープ】

ブリーズライト

「ブリーズライト」はプラスチックバーの反発力で鼻腔を拡げる鼻孔拡張テープです。貼った瞬間から鼻の通りをスムーズにして呼吸をラクにし、鼻のつまりが原因となるいびきの軽減や、快適な睡眠をサポート。薬剤を使用していないため、薬を飲んでいる時でも使用でき、眠くならないので運転中でも使用できます。

マーケティング

時代を見据えた効果的な戦略を展開

健康寿命の延伸に向けた国策が進行する中、OTC 医薬品の役割は今後より一層重要になっていきます。佐藤製薬では、直販の強みを生かしたきめ細かな営業体制をはじめ、各種セミナーやPR活動、DXを活用した情報提供などにより販売店をサポートしています。

ブランドアンバサダーを起用した効果的なプロモーション戦略

ブランドアンバサダーを起用した効果的なプロモーションを展開しています。「ユンケル」ではブランドの顔としてのイチローさんの起用を通じて、シーンに合わせた飲用頻度の向上や飲用顧客の拡大を図っています。「ストナ」には浅田真央さん、「アセス」には春風亭昇太さん、「エクセルーラ」には松下奈緒さんを起用。テレビCMを中心にターゲットに合わせたデジタル広告を活用することで、認知拡大とシェアアップを目指しています。



かぜ薬「ストナ」



ミニドリンク剤「ユンケル」



歯周病薬「アセス」



ミニドリンク剤「ユンケルローヤル」



化粧品「エクセルーラ」

セミナーやシンポジウムを通じて販売店の経営をサポート

全国の薬局・薬店、ドラッグストアを対象に、新製品および業界動向など有用な情報を提供するセミナーやシンポジウムを開催しています。ドラッグストアの経営者に向けた「サトウ ドラッグストア カンファレンス」、薬局・薬店の経営者を対象にした「サトウ シンポジウム」を継続的に開催。販売店の経営支援の一環として、国内外の有識者や専門家の講演を行っています。



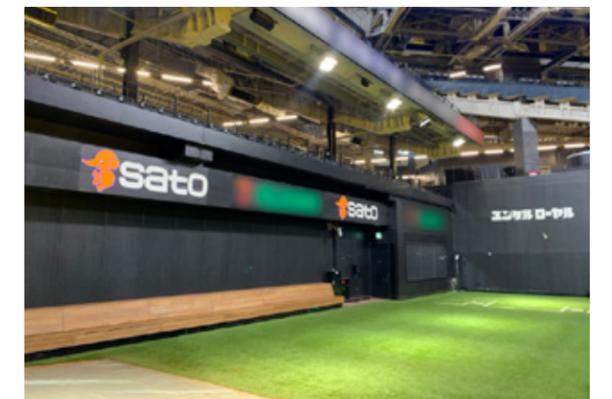
サトウ ドラッグストア カンファレンス
アヘルス 執行役員 / 首席運営官 (COO) 沈 滌凡 (Leo Shen) 氏

野球場看板広告やスポーツイベントの協賛を通じた生活者への認知度向上施策

毎年実施している東京ドームでのユンケルプロモーションや沖縄で開催されるNAHAマラソン、ゴルフトーナメントへの協賛などを通じて、主力品の「ユンケル」などサトウブランドの製品をアピールするとともに、人々の健康に貢献し、セルフメディケーションを応援する企業として認知拡大を目指しています。



ユンケルプロモーション



エスコフィールド看板広告

02

[医療用医薬品事業]

皮膚科領域を中心に独自性のある製品を提供

佐藤製薬では、皮膚科領域を中心として製品ラインアップを拡充することで、患者様のQOL向上に努めています。また、幅広いニーズに対応するために剤型の開発にも注力しています。

主力製品



【外用剤と経口剤での爪白癬市場をリード】
ネイリンカプセル・ルコナック爪外用液

医療用医薬品事業をけん引しているのは、皮膚科領域の中でも爪白癬治療に関する薬剤です。2016年に外用爪白癬治療剤「ルコナック爪外用液5%」、2018年には経口の爪白癬治療剤の「ネイリンカプセル100mg」を発売。さらにルコナックについては、シンガポールでの承認を取得し、グローバル展開中です。佐藤製薬は外用剤と経口剤の両方を持つ国内唯一の製薬会社として、これからも爪白癬市場をリードしていきます。

マーケティング

きめ細かな情報の提供活動を実施

佐藤製薬では、爪白癬治療を中心として積極的に情報提供活動を行っています。特にドクターに対してはウェブセミナー、患者様に対してはHPを中心としたデジタルでの情報提供に注力しています。

爪白癬治療のリーディングカンパニーとしての取り組みとプロモーション啓蒙活動



ネイリンカプセル100mg 発売5周年記念講演会

佐藤製薬は爪白癬治療において、ネイリンとルコナック、経口剤と外用剤の両方を持つ製薬会社として、各種講演会やデジタルを活用したさまざまな情報提供を行っています。これからも爪白癬治療における、より多くの患者様の医療機関への受診と完全治癒を目指します。

佐藤製薬独自のウェブセミナー構築



独自のセミナー配信プラットフォーム

after コロナ・with コロナ時代の中で、佐藤製薬独自のウェブセミナーの配信プラットフォームとして、SDO (SATO Derma Online) を展開しています。毎月、爪真菌症を中心に、皮膚科医に対して有益な情報を配信し、登録医師数は2023年10月時点で約5,000名。毎月5回程度セミナーを開催し、セミナーごとに約200名から300名の先生にご視聴いただいています。

さまざまなチャネルを活用した患者様への啓発活動

佐藤製薬では、新聞広告や自社疾患啓発サイト（爪水虫情報サイト）などを通して、爪白癬の疾患啓発活動を行っています。全国に向けた情報発信だけではなく、各エリアのニーズにも合わせた活動を進めることで「足・爪疾患の正しい理解」の普及に努めています。今後も、爪白癬が及ぼすQOLへの影響を正しく理解してもらい、より多くの患者様の医療機関への受診と完全治癒を目指します。



疾患啓発広告



疾患啓発のための新プロジェクト



独自性の高い製品群で
患者様の QOL に貢献

パスタロン ダラシンシリーズ・ パッチテストパネル

佐藤製薬では他にも皮膚科領域を中心に独自性のある製品を開発しています。尿素製剤の「パスタロン」はさまざまな製品を拡充し、長年医療現場で使われています。また、ざ瘡治療剤の「ダラシン」シリーズ、アレルギー性皮膚疾患の検査薬「パッチテストパネル(S)」など、医療現場での幅広いニーズに対応し、患者様のQOLの向上に貢献していきます。

外用局所麻酔剤市場で
シェア1位を獲得

エムラシリーズ

2012年、日本で初めて「皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和」を効能・効果として承認を取得した外用局所麻酔剤「エムラクリーム」を発売。2015年に「注射針・静脈留置針穿刺時の疼痛緩和」の適応を拡大。2017年には、剤形追加として、ワンタッチで処置できる「エムラパッチ」を発売しました。2018年度には外用局所麻酔剤市場（薬価ベース）でシェア1位を獲得し、以降シェア1位を維持しています。



研究開発

臨床試験中の開発品と 医療用医薬品のグローバル展開

佐藤製薬では、日本および海外において、医療ニーズの高い皮膚疾患治療薬の開発を進めています。

新効能追加の開発状況

品名	適応症	開発段階
ネイリン	皮膚感染症	第II相臨床試験準備中

「ネイリンカプセル 100mg」は爪白癬に加えて、その他の皮膚感染症の治療のために新たな適応症の開発を進めています。



新薬の開発状況 (国内)

開発コード	適応症	有効成分	開発段階
SKN-15	ウイルス性皮膚疾患	新規有効成分 (ライセンス導入)	第II相臨床試験
SKE-18	炎症性皮膚疾患	新用量・効能 (ライセンス導入)	第I相臨床試験

海外企業との提携により、日本での治療の選択肢の少ないウイルス性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患の治療薬の開発を進め、医療ニーズに応えてまいります。

新薬の開発状況 (海外)

国名	品名	適応症	開発段階
シンガポール	ルコナック	爪白癬治療薬	承認取得
アジア地域 フィリピン・マレーシア・タイ	ルコナック	爪白癬治療薬	申請準備中
米国	ルリコナゾール 外用薬	爪白癬治療薬	第II相臨床試験準備中

日本で製造販売承認を取得している「ルコナック爪外用液5%」の海外展開を積極的に進めており、シンガポールでは2024年7月に発売予定、その他のアジア地域でも承認申請を行っており、アジア地域における爪白癬患者の治療に貢献してまいります。また米国では、佐藤製薬が創製したルリコナゾール外用製剤を爪白癬の適用で開発を行っています。早期の承認取得に向けて臨床試験を進めてまいります。

自社開発品の研究状況

積極的にさまざまな大学と共同研究を行い、最新の知見を取り入れることで画期的な創薬につなげています。現在は、眼疾患、創傷治療、抗真菌、サルコペニア、生薬研究の5つのテーマに注力。候補化合物が非臨床開発研究に進んでいるテーマもあり、各テーマとも着実に成果を上げるとともに新規テーマの立ち上げも積極的に行っています。新規化合物の合成や生物学的スクリーニング、薬理・薬物動態評価・安全性評価など、現場のニーズに応える活発な研究活動を展開しています。

分野	研究状況	研究内容
眼疾患	非臨床開発研究	医療用点眼剤の開発研究
創傷治療	開発候補選定	新規創傷治療薬の開発研究
抗真菌	リード化合物最適化	新規抗真菌薬の開発研究
サルコペニア	創薬ターゲット同定	疾患モデル研究によりターゲット探索中
生薬研究	ユンケル配合生薬評価	生薬の生体作用メカニズム研究、新規作用探索

共同研究先 (五十音順)

九州大学、慶應義塾大学、順天堂大学、帝京大学、東京大学、獨協医科大学

新薬の創出に向けた最先端の取り組み

新研究棟、製剤研究棟などの施設が立ち並ぶ東京都品川区の「品川研究開発センター」。
 ここでは研究企画室、創薬研究部（ライフスタイル研究課、合成研究課）、
 医薬研究部（薬理研究課、薬物動態研究課）、製剤研究部（製剤研究課、分析研究課、化粧品研究開発課）の
 4つの部署で、新薬の創出に向けた研究を行っています。

研究開発

時代を見据えた独自の創薬を通じて 現場の新薬ニーズにいち早く対応

「品川研究開発センター」では、医療用医薬品やOTC医薬品から、医薬部外品、化粧品、食品まで、既成のカテゴリーにとらわれず、生活者のニーズに基づく付加価値の高い製品の研究・開発に積極的に取り組んでいます。現在は、眼疾患、創傷治療、抗真菌、サルコペニア、生薬研究の5つのテーマに注力。創薬基盤を強化するために経験豊富なキャリアや若手研究者の採用を実施し、新規化合物の合成や生物学的スクリーニング、薬理・薬物動態学的評価など、現場のニーズに応える活発な研究活動を展開しています。さらに、低分子創薬の根幹となる「合成研究」を加速するために最先端の設備を導入した新合成研究棟を建設中です。新合成研究棟では安全かつ快適に研究に取り組める環境を整備し、研究者一人当たりの作業スペースが増えることで研究効率が大きく向上すると考えています。



新合成研究棟（建設中）

新合成研究棟の建設

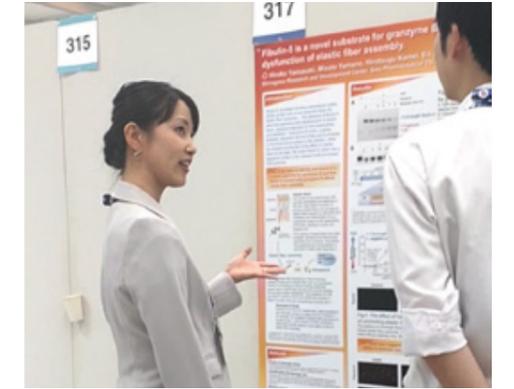
合成研究を強化するために、新合成研究棟を建設中です（2024年12月竣工予定）。医療用医薬品事業のさらなる拡大に向けて低分子創薬にフォーカスし、他社とは異なるオリジナルの標的アプローチで創薬を実現します。



新合成研究棟（完成予想図）

国際学会への研究成果報告

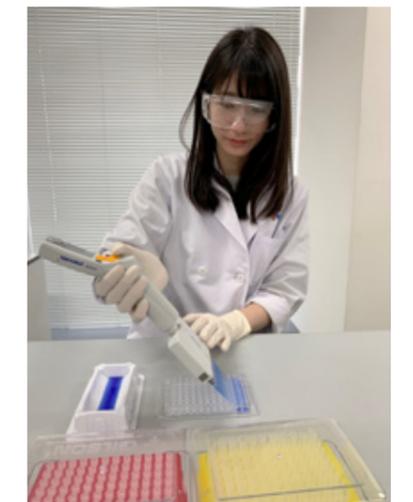
皮膚状態が増悪するメカニズムについて新しい視点で探求し、得られた研究成果を国際研究皮膚科学会「International Societies for Investigative Dermatology Meeting (ISID)」にて報告しました。これらの知見を、独自性の高い創薬ターゲットの探索・化粧品素材研究に生かしています。



学会発表

化粧品開発における特許取得

新規化粧品素材について質の高い科学的エビデンスを取得し、特許取得につなげています。キハダ樹皮エキスのバリア機能改善作用に関しては、その活性成分を同定し、日本に加えて、化粧品業界で重要なマーケットである中国においても特許を取得いたしました。



化粧品研究

03

【海外事業】

世界6拠点をベースに、サトウブランドを育成・普及

佐藤製薬の海外事業は、成長著しいアジア市場を中心に、北米・欧州にまたがる6拠点（台湾、香港、シンガポール、中国、米国、ドイツ）で展開。米国・欧州などの企業と業務提携により医療用・OTC医薬品の開発を強化しています。また、現地に密着したマーケティングと販売活動を行い、地域ごとのニーズに対応しています。

海外拠点および海外提携先

- 海外拠点
- 技術・製品の導入
- 製品の導出



マーケティング

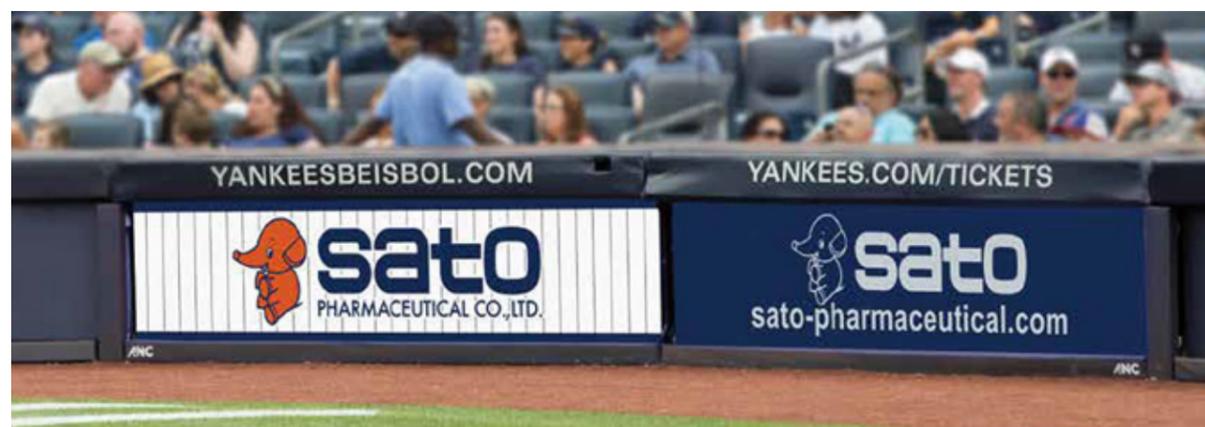
世界 6 拠点を基盤に、きめ細かなマーケティングと地域に密着した販売活動を展開。
リアル広告とデジタル広告を効果的に活用することで
国や地域で異なるライフスタイルやニーズに対応したサトウブランドの育成・普及に努めています。

米国でのプロモーション

米国では、北米エリアの「ヤンキー・スタジアム」や「T-モバイル・パーク」での企業広告を展開しています。
また、ハワイやロサンゼルスで開催されているゴルフトーナメントに協賛しています。



シアトル・マリナーズ本拠地「T-モバイル・パーク」の看板広告



ニューヨーク・ヤンキース本拠地「ヤンキー・スタジアム」の看板広告



米国（ワイアラエ CC / ハワイ）ソニーオープン協賛



米国（リビエラ CC / ロサンゼルス）Genesis Invitational 協賛



アジアでのプロモーション

現在、アジアを中心にデジタル広告の活用を強化しています。
佐藤製薬の海外におけるデジタル広告は、人気プロガーなどを活用した SNS 広告が中心で、製品の体験価値を伝えています。
また、台湾や香港では、サトウブランドのバスラッピング広告を展開しております。



シンガポール プロガータイアップ広告



台湾 バスラッピング広告



brand ambassador for **STONA**

Figure skater ストナ ブランドアンバサダー：浅田真央

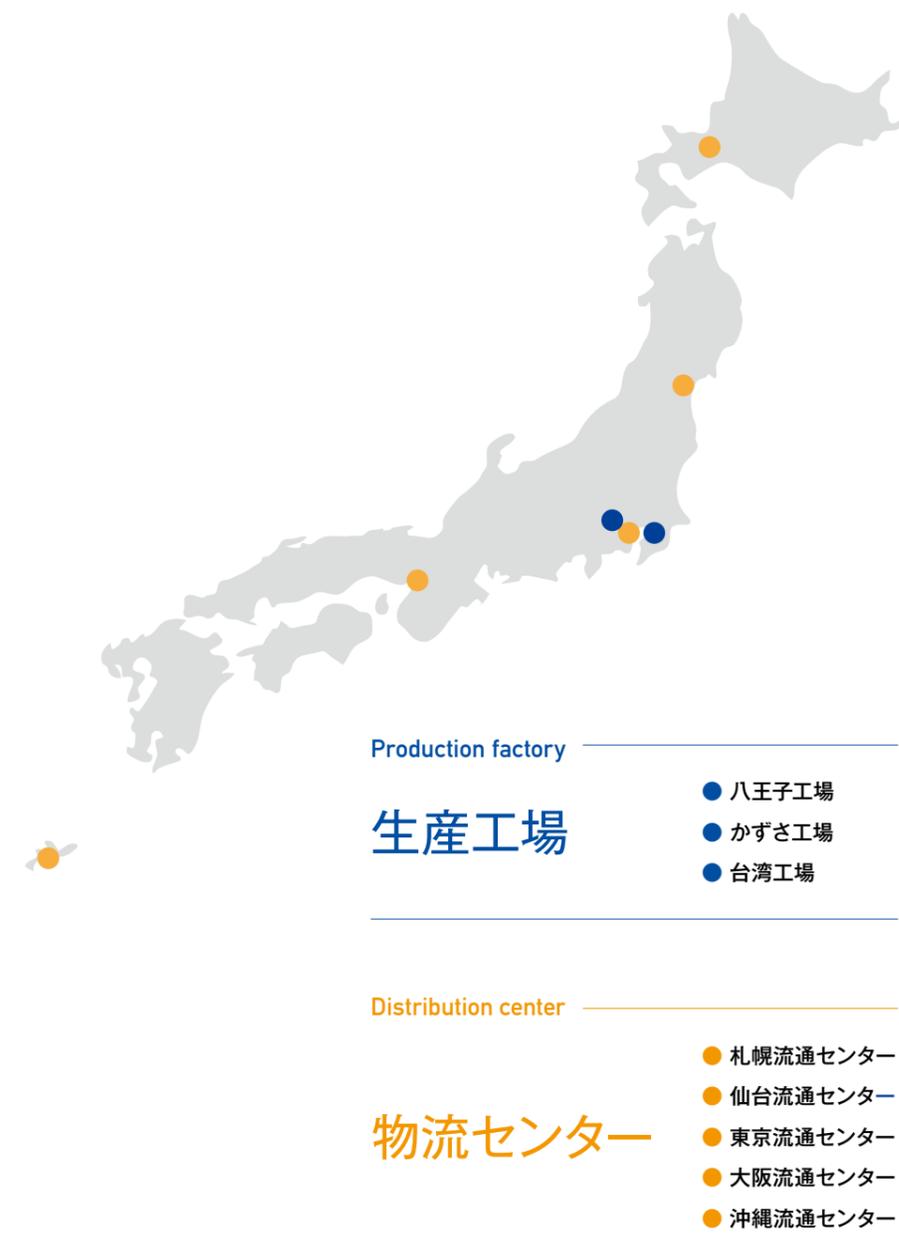
Mao Asada

かぜの症状に合わせて効果を発揮

ストナのテレビCMにご登場いただいている浅田真央さん。フィギュアスケートを通じて“世の中を元気にする真央さんの姿”と、かぜで苦しんでいる人々を元気にさせるというストナのブランドイメージが合致することから2010年に起用しました。佐藤製薬は、2018年より真央さんセルフプロデュースのアイスショーのオフィシャルスポンサーも務めており、2022年もアイスショー「BEYOND」に協賛しました。

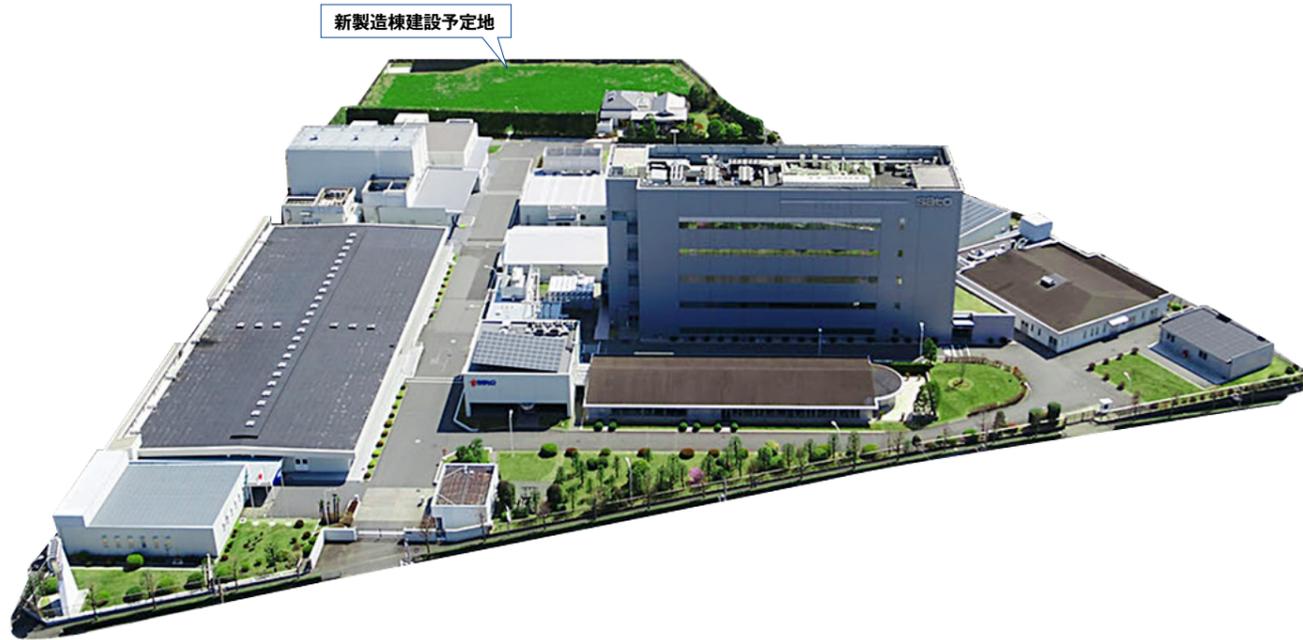
生活者一人一人の期待に応える製品を
いつでも、どこでも

最新の設備で高品質な製品を生産する工場と、
必要な製品をいち早くお届けする効率的な物流ネットワーク。
佐藤製薬では万全な生産・物流体制のもと、
生活者一人一人の期待に応える製品を迅速かつ安定的に供給しています。



質の高い製品を、迅速かつ安定的に

製薬会社にとって、質の高い製品を迅速かつ安定的に供給できる体制の構築は不可欠です。佐藤製薬では、基幹工場である「八王子工場」と最新設備を有する「かずさ工場」が生産を担っています。八王子工場、かずさ工場は、グローバル GMP にも対応した世界水準の生産体制を有しています。



八王子工場

充実の設備とグローバルな生産体制を備えた基幹工場

1961年の操業開始以来、生産の中核を担ってきた八王子工場は、約2万5,000m²の敷地を有し、ドリンク剤生産ラインや軟膏棟、製剤棟、アセス製造棟などの施設を配置しています。新製品の投入や市場の変化に対応するため、生産ラインの拡充とシステムの充実を積極的に推進。また、生産拡大に対応するため、新製造棟の建設も予定しています。新製造棟はグローバル GMP に対応した生産ラインとなる予定です。2022年3月に化粧品の製造に関する品質・安全性に関する国際規格の「ISO22716」を取得しました。



新製造棟 (完成予想図)



アセス生産ライン

かずさ工場

IT を駆使したフルオート設計の次世代工場

千葉県の緑豊かな研究都市にあるかずさ工場は、最新テクノロジーを集結した次世代のハイテク工場です。内用液剤棟と外用剤棟の生産施設は、IT を駆使したフルオート設計で、工場全体が一つの巨大なロボットのように自動制御されています。「ナザールスプレー」の販売拡大に対応するため、2021年12月に新しいラインを導入するなど、積極的に設備投資を行っています。



ユンケル生産ライン



ルコナック生産ライン

明日へつながる高効率な物流ネットワーク

全国の薬局・薬店、ドラッグストア、卸企業との強い結びつきは財産であり、大きな強みです。
効率的な物流ネットワークを構築することで製品の発注情報をスピーディーに管理。
蓄積されたデータベースは、製品開発やサービスの充実にも生かされています。

全国に広がる安心・安全で確実な物流ネットワークと最先端のソフトウェアを備えた物流拠点

佐藤製薬には、札幌・仙台・東京・大阪・沖縄の5か所に流通センターがあります。
業務のDX化により迅速な配送だけでなく、
配送物に関するトレーサビリティも充実しています。
また、廃棄物のリサイクル、太陽光発電など、環境に配慮した取り組み、
GDPガイドラインへの対応をはじめ、セキュリティの強化、
個人情報保護など、物流の世界標準を目指しています。



大阪流通センター

東京流通センター



東京流通センターの自動ピッキングシステム

最先端のハードウェアと充実した管理体制

日々変化する物量に対応することを可能にしているのが自動ピッキングシステムです。
一番大きな施設である東京流通センターでは、注文1件あたりの処理スピードは30秒かからないほどです。
また、すべての施設には保管温度の監視装置が導入されており、
一定の温度を超過するとアラートが発せられるシステムになっています。



台湾工場

信頼性の高い製品づくりを担う 海外の世界基準の生産拠点

台湾工場では、八王子工場と同一機械、同一管理を導入しています。定期的に日本国内の品質管理課でダブルチェックが行われ、信頼性の高い製品づくりを実現しています。2014年には世界的な品質管理基準であるPIC/S-GMPに適合。2022年に更新の許可を取得し、成長するアジア市場に向けた生産拠点として稼働しています。



ナザール生産ライン



工場内のラウンジ